

国別技能評価システムの概要
(技能評価システム移転促進事業)

更新日：令和 6 年 9 月 30 日
株式会社 J T B

国名	タイ
所管政府機関	Department of Skill Development (DSD), Ministry of Labour 労働省技能開発局
技能評価制度	<p>日本政府の無償資金協力・技術協力によるコンケン職業訓練センター(1978)、ウボンラチャタニ職業訓練センター(1985)をはじめとする各国や国際機関の援助により、内務省技能開発局の下、東南アジアとしては早くから職業訓練制度や機関が整備された。現在、DSD が直轄運営する 12 の地域技能開発センターと、県が運営する 66 の職業訓練校において就職前養成訓練プログラム、在職者技能向上訓練プログラムなどを実施している。Samutprakarn 県にある地域技能開発センターに、2015 年、官民合同で自動車関係の人材育成を行うタイ自動車人材育成アカデミー (AHRDA) が整備され、活動を開始した。</p> <p>国家技能標準試験は、技能開発促進法 (2002 年) に基づき、DSD が実施している。国家技能標準 240 職種 (2018 年 10 月 19 日現在) が承認され、初級のレベル 1 から上級のレベル 3 までとなっている (一部の職種はレベル 1 又はレベル 2 までの整備)。自動車塗装工、自動車板金工、パイプ溶接、金型製作、CAD、旋盤加工、CNC 旋盤、電気設備工、エアコン工などの製造業系の技能の他、建設関係、サービス関係の技能標準が整備されている。</p> <p>【技能検定】 タイでは例年約 70 職種の技能検定が実施され、2023 年度の受検者数が多い職種は以下の通りである。 屋内電気工(受検者数 25,904 名/合格者数 16,984 名)、 コンピュータ (ワープロ) (受検者数 5,347 名/合格者数 2,703 名) 家庭用・小規模商業用空調技術者(受検者数 3,536 名/合格者数 2,388 名) 自動車メンテナンス技術者(受検者数 2,294 名/合格者数 1,767 名) タイマッサージ師(受検者数 1,953 名/合格者数 1,592 名) メカニック(受検者数 1,897 名/合格者数 996 名)</p> <p>技能向上及び技能取得のインセンティブを高めるために、2008 年の労働保護法改正により、職種別、技能レベル別の最低賃金が設定された。これにより、国家技能検定の合格者に対しては、職種別に技能レベルに応じた最低賃金 (一般の最低賃金より高い) が設定されている。</p> <p>【技能競技大会】 タイにおける技能競技大会は、国レベルの技能競技大会が隔年で行われ、ASEAN 技能競技大会(WorldSkills ASEAN Competition)の予選ともなっている。また、これらの競技大会で優秀な成績を残した選手については、技能五輪国際大会に出場しており、職種により国際大会で金メダルを獲得する水準に達している。</p> <p>2023 年度に CNC 旋盤、CNC フライス盤、メカトロニクス、冷凍空調技術など 25 職種で、348 名の選手が参加して国内技能競技大会が実施された。</p>

実施体制	<p>【技能検定】 国家技能標準試験は、技能評価センターが実施することとされており、全国の技能開発センター、職業訓練校のほか、DSD が認めた企業や専門学校等の機関で実施されている。実際の試験の実施頻度は、受検ニーズにより不定期に実施される。ただし、内装電気工、溶接、機械加工など、ニーズの高い職種については、定期的に行われている。</p> <p>【技能競技大会】 タイにおける全国技能競技大会は、前年に実施される技能競技地方大会（4つの地方で隔年開催）のメダリスト（金、銀、銅）が参加して隔年で行われる。この大会は ASEAN 技能競技大会の予選となっている。</p>
SESPP 事業の状況	<p>これまでに実施した職種は、電工、機械組立仕上げ、旋盤、配管、シーケンス制御、情報配線施工、電子機器組立てなどがある。</p> <p>タイにおいては既に自立的に検定を運営する能力を備えたと判断できることから、2018 年度以降は現地活動を行っていない。</p>